

あうとのみあ

地域・地元根ざす
公立中高一貫校受検
中学受験・高校受験の

So You!
早友学院

あうとのみあとはギリシャ語で自立を意味し、早友学院の指導理念を象徴することばです。

受験生にとってご家族の協力が なお一層必要な時期になりました

今年は野球のWBC、ラグビーのフランスW杯、バスケットボールW杯などの開催の年でしたから、運動・スポーツへの関心が高まりましたね。私も日本のプレイに一喜一憂し、喜びや悔しさを全身で表現するほど夢中になりました。そのうえで、運動・スポーツがもたらすものとして、「勝利にのみ喜ぶのではなく、相手の存在を見失わずにフェアプレイに徹し、試合を成立できた喜びを相手と分かち合うこと」が大切であると再確認しました。

昨今は運動・スポーツにかぎらず一般に、受験もまた競争意識の連続です。ですから、「負けてなるものか!」と頑張る子ども達の精神はストレスだらけになります。

そこで大切になるのが体調管理です。とりわけ秋から冬に向けては入試への緊張が日増しに強くなってゆきますから、子ども達の健康管理にはご家族のサポートが欠かせません。新型インフルエンザの感染が広がっていますので、マスクの着用、手指のアルコール消毒などの基本的な感染予防にご協力ください。また、予防接種や就寝時の加湿器の活用等、転ばぬ先の杖となる対策をぬかりなくお願いします。

この時期は各志望校の学校見学や説明



会が行われますから、できるかぎり参加して、自分の志望する学校がどのようなところかを実感し、今自分がベストと考えている志望校が『本当に自分に適しているかどうか』等の見極めも含め、よりよい志望校選択に役立て、受験へのモチベーションを高めてゆきましょう。

ところで“運動・スポーツにかぎらず受験もまた競争意識の連続”と述べましたが、運動でも学習でも、本当の競争相手は他人ではなく、実は自分自身なのです。ですから、自分自身のさまざまな課題にしっかり向き合って弱点を克服していくチャレンジ精神が活発な間は学習の成果を実感できて心も弾むのですが、真の競争相手が自分自身であることを見失いはじめると、他人の成績ばかりが気になりはじめて、学習の成果が実感できなくなります。

しかし、心配ありません。長丁場の受験学習では、誰にでもときどきこうしたことが起こるものです。そんなスランプに陥ったおりは、すぐに教室の先生に相談しましょう。学院の講師陣は受験学習指導のベテラン揃いですから、適切なアドバイスでスランプを必ず脱出させてくれます。

もっともこうしたスランプに陥らない学院生もいます。そうした児童・生徒に共通するのは、『将来、自分は〇〇になりたい』という明確な目標をもっていることです。彼等は自分のゴールに向かってコツコツと学習を積み上げる習慣が身についており、いつも自分の生活リズムを崩さずに励んでいます。皆でおおいに参考にしましょう。

早友学院学院長 高久 富司夫

小2プレ脳育授業 開講



「小3脳育授業のエッセンスを凝縮し、たのしく知能を伸ばす」をコンセプトに、現小学2年生向け講座として「プレ脳育授業」を開講する運びとなりました。

「ことば遊び・なりきり作文・パズル系算数・計算力強化」といった脳育授業を小学2年生向けにアレンジし、スムーズに「小3脳育授業コース」へ進んでいけるような内容となっております。

授業料、その他費用を無料とさせていただきますので、ご興味のある方は、元気に

たのしく伸ばす『早友流』をぜひ体験してください!

会場 早友学院 全教室

費用 無料

日程 12月より順次開講します。

※詳細はホームページ等にてお知らせします。

お申込み 早友学院ホームページの申込みフォームからお申し込みいただくか、申込書をお教室にご提出ください。

模試の活用・注意事項

ハードな夏期講習に取り組めたことで、学院生個々の学習に対する自信が少しずつ現れる時期が2期です。それを実感できるようにするため、学院では日常のチェックテストをはじめ、各種模擬試験など、様々なテストを行ないます。学校の定期テストも指標の一つとしています。

テスト後の取り組みとして、結果を分析することが重要です。解答に失敗した項目こそが取り組むべき課題です。とことん活用し、さらなる学力向上に役立てましょう。

<テスト後には解き直しを>

テスト後に行うべき最も大切なことは、“解き直し”です。そして解き直しには以下のような3つのポイントがあります。

- ①できない問題
- ②もう少しでできる問題
- ③ケアレスミス

これら3項目のうち優先すべきは、②と③です。特にケアレスミスにはしっかり注目すべきです。「ケアレスミスだから次はできる」と考える学院生がいますが、ケアレスミスは何度でも起きます。これを解決するには、どのような箇所ですら“うっかり”してしまうのかを、解き直しの過程で、よく確認することです。

<解き直しは一度だけ?>

いいえ!まず、最初に間違えた問題を解き直したら、一日後にまた同じ問題を解き直し、さらに一日後にまた同じ問題を解き直すといった繰り返しが必要です。というのも、24時間以上経つと、一回きりの体験は長期記憶とはならず、短期記憶として、脳から消去されていくからです。

同じ問題を繰り返し解くことは子供にとってはひどく退屈なことですが、このような地道な作業を学習習慣化することが、成績向上にとっては不可欠です。

<ご家庭の皆様へ>

受験学習では小さな成功体験の積み重



ねが自信につながります。ですから、よい点数をとったら、本人以上に喜び、褒めてあげましょう。そして、点数が悪かった場合には、良いところを見つけて応援してあげましょう。悪いところではなく、良いところだけに着目するのは難しいですね。ですが、我が子の小さな努力を見落とさない気遣いが大切です。そして、失敗から学べるよう、問題の解き直しに手を貸すことで、親子が一緒に、間違いの原因に気付くという形の感動を共有することも有効な学習指導になります。

中学生テスト対策について

自修会活用、内申書アップに
塾を利用しよう!

早友学院では、各生徒の志望校合格に向けた指導をおこなっています。志望校合格を勝ち取るためには、内申点を確実に取るとともに、基礎から応用まで対応できる学力を身につけることが必要となります。公私ともに充実した日々を過ごし、志望校合格に必要な学力を養っていかねばなりません。

内申点を確実に取るためには、①定期テストや各教科の小テストで高得点を取ること、②課題(提出物)を期限内に提出すること、③授業態度(授業をしっかり聞く、積極的に発表する姿勢)が肝要です。

定期テストで高得点を取るには、計画的な学習が必須となるため、早友学院では事前に策定した学習計画を遂行する場として「自修会」を提供しております。ご自宅ではテレビやゲーム、動画配信サービスなどの様々な誘惑が存在しますが、早友学院の自修会では周りも勉強している人ばかりなので、「自分も頑張ろう」という気持ちに

なれます。

また自修会を利用する際は、事前に学習計画を策定しましょう。具体的には○月○日は教科書の○ページから○ページ、○月○日はワークの○ページという具合で策定し、遂行できたかを振り返りましょう。策定に慣れていない場合は、無謀な計画となることが多いため、振り返りは必ずおこないましょう。また、テスト範囲の問題を最低3回は解けるように学習計画を策定しましょう。

定期テストに出題される内容は、授業で習ったことが中心です。先生が授業中、特に強調したところや繰り返し説明したところ、板書でチョークの色を変えたり、線を引いたり、○で囲んだりしたところは(ノートに写すときも同じように、色を変えたりマーカーで囲んでおくこと)授業後に必ず復習しましょう。また、テスト前に先生がもう一度説明したところも重要です。テストに出やすいところなので、注意しましょう。

また、ワークなどの課題は学習内容の確認作業の一貫です。自らの知識の確認という意味でしっかり取り組んでください。現在習っていることが高校入試に直結しているということを念頭に、定期テストにも力を入れましょう。

「やらされている」という受身の姿勢から「自ら進んで行う」という自立の姿勢を自修会で養い、実力を付け志望校合格を勝ち取りましょう。ご家庭の皆様におかれましても、ご協力をお願いいたします。

季節の行事



夏期講習を終えて

小学4年生 S.K.

ぼくは、夏期講習で初めてサイエンスの授業を受けました。サイエンスでは電気回路を作りました。むずかしかったのはさす位置が少しずれるだけでライトなどがつかないことがあることです。また線がつながると電気が流れるということがよく分かりました。算数では、植木算をしました。最初のうちはむずかしかったけれどだんだんできるようになりました。国語の漢字はむずかしいけれど前よりも早く覚えられるようになりました。

夏期講習の後半は休んでしまいあまりテストがよく出来なかったので今度のテストでは良い点が取れるようにがんばりたいです。

小学5年生 T.R.

私が夏期講習を終えてできたこととできなかったと思ったことが一つずつあります。

私ができるようになったことは、算数の割合です。私は今まで割合がとても難しく感じていて、にがてでした。ですが家でたくさん練習してよく分かるようになりました。これからは割合を得意にしていきたいです。次に思ったことです。私は初め、夏休みは一カ月間もあるのだからいつもとちがいで、時間を効率的に使うことができると思っていました。ですが、実際に夏休みをむかえると、一日がとても短く感じて、予定通り進めることができませんでした。学校の宿題は終わりましたが、講習会テストに向けての勉強は、あまりできなかったと思います。予定通り進められないのは私が夏休みだからと、だらけてしまったのが原因だと思います。

これからも夏休みや、長い休みがあると思います。そのようなときには、時間をむだにしないように、早ね早起きをして、生活リズムを整えたり、計画を立てたり、工夫して頑張りたいと思いました。

小学5年生 O.A.

私が夏期講習で大変だったことは、授業の解き直しです。なぜなら、じゅくがない時間でもずっと解き直しをしないといけなくなって、学校の宿題も何もできなくなってしまうと思ったからです。また、授業でできなかった所を解き直ししてできるようにならないと次にそれを利用して解く問題が出てきたら、解けなくなるからです。

この夏期講習で学んだことは、最初は解けなくても、次は解けるようにすることです。夏期講習テストでは、算数の解答用紙を全てうめることができました。でもミスもあったので必ず次のテストまでにミスをなくしたいです。また、国語では、苦手な読解が二つ目の文章問題では百字要約もできて、夏休み中に本を読んだことで読解が少しできるようになったのでよかったです。これからも解き直しをしっかりと、本を読んでいきたいです。

小学6年生 S.N.

私は、二度目の夏期講習でしたが、去年よりも、復習をしっかりできたり、休日には解き直しに加えて苦手な部分の問題に時間をかけて取り組むことができました。夜の八時まで四時間の授業を受けることは、つかれたり集中力が切れてしまったりして大変でしたが、しっかりと問題をあきらめずに解いたり、頑張って宿題を毎日こなすことができました。今年は、今まで行ったことのない東陽教室に行って、苦手な算数を四時間、三日連続で解き続け、頭がとてもつかれました。けれども、この算数特訓や、夏期講習によって、少し算数への苦手意識が薄まったのではないかと感じています。

今年は、授業時間が長かったり、授業内容が難しかったりして、家で復習をする時、一問一問とても時間がかかりました。これか

ら夏が終わりと、秋にかけて受験がどんどん近くなっていくことを実感します。この夏期講習で得たものを受験に生かし、つなげられるように、夏期講習が終わっても、復習や解き直しを続けて、受験に受かるように努力していきたいです。

小学6年生 K.H.

私は、夏期講習前は復習をやる時間が少なくあまり定着しなかったが、夏休みに入ったことで、今まで以上に時間が増えたので、復習もさまざまな単元を三〜四周することができた。夏期講習が毎日あり、ペースを守るのは大変だったが、毎日塾の友達と会えたので嬉しくはげみになった。そして、塾が一時から開いているので、家でのおんぴりと過ごしてしまう私は、塾に早く行って勉強することでもはかどった。また、友達も早く行っているんで、友達と勉強をする。そうすることで自分もやる気になれる。

これから二期に入ることにより、だんだんと本番の試験の特訓が多くなる。私は、まだ算数が苦手なので、これからも、どんなときも復習をやると思う。復習も一周だけではなく、高久先生が言っていたように、四周は必ずやるようにしたい。国語は、十五位以内に毎回入れるようにして算数は、三十位以内にできるだけ多く入れるようにしたい。

直前日曜特訓に参加して

小学6年生の皆さんは、10月末より直前日曜特訓が始まります。昨年直前日曜特訓に参加し、合格した皆様の先輩の作文を紹介します。

都立白鷗高等学校附属中学校合格 K・Y

直前特訓をはじめた時は、知らない人がたくさんいて、今までの模試のような教室でやったので、とても緊張した。解く問題も難しく、論理的に説明する方法が分からなかった。

最初は、慣れなくて不安だったが、何回も直前日曜特訓に参加していくうちに、文章の書き方や心構えなどを先生達が話しているのを聞いて、解けるようになった。何回も本番のつもりでやっていたことで、雰囲気にも慣れていった。たくさん問題を解いて、自分の経験になったと思う。

本番の時にも緊張しないで、周りの人をみんなが早友学院の人だと思って、出来るだけ全力でがんばりたい。後になって後悔しないように、今できる解き直しや見直しをしっかりとしていきたい。中学でどの学校に行っても頑張れるように集中して取り組んでいきたい。

都立小石川中等教育学校合格 T・H

私は、直前日曜特訓に参加したの頃は、忘れ物がとても多かった。分度器を使うと言われていたのに分度器を忘れたり、必須ともいえる腕時計を忘れたり、とてもこのままでは危ない状態だった。

しかし、直前日曜特訓に参加してしばらくすると、失敗をしたことで忘れ物をしない工夫をするようになった。特に、腕時計は、工夫により忘れることがなくなった。このように、直前日曜特訓は失敗から学ぶための場だ。忘れ物の他にもいくつかの失敗をしたが、その度に学び、工夫につなげることができたと思う。

直前日曜特訓を終えたことで、安心感を得ることができた。というのも、失敗の後にしっかりと生かしたことで、本番も大丈夫だと思えるようになった。そして、その安心感を忘れずに、落ち着いて本番に挑みたいと思う。

都立両国高等学校附属中学校合格 K・M

直前日曜特訓が始まる前は、適Ⅱと適Ⅲの時間配分が苦手だった。なぜなら、問題の全体を見ないで、一問目から順番に解いてしまうことが多かったからだ。そこで、日曜特訓で時間配分が上手にできるようになることを目標にした。

最初は、試験が始まったら問題に一通り目を通すことを心がけた。そして、自分が解けそうな問題から解くようにした。しかし解けそうだと思って考えても難しかったり、難しそうだった問題が簡単だったりした。それぞれの問題の難しさを、短時間では判断できなかったのだ。でも、経験を積むことで、的確な判断ができるようになった。

このように日曜特訓を通して、上手に時間配分ができるようになったので、当日も冷静にいつも通りに問題を解くようにしたい。そして、後悔のない結果を残したいと思う。

都立両国高等学校附属中学校合格 M・K

私は、直前日曜特訓の前では点数が平均点以下だったらどうしようと思ってしまったり、分からない問題があったらどうしようかと悩んでいました。しかし、悩んでいても何も解決しないことに気がきました。

そこで日曜特訓が終わったらすぐに解き直しを優先して勉強しました。なぜなら、解き直しは自分の間違えた問題、分からない問題をすぐに見つけることができるからです。解き直しをすることが、学力が一番効率的に伸びると思って、模試などがある日にはリラックスして取り組むことができました。

直前日曜特訓を終えて、中学受験は一つの通過点だということを考えて緊張しないように本番に臨みたいと思います。また、今までに勉強してきたことをもとに中学生になっても様々な分野に挑戦していきたいです。

都立両国高等学校附属中学校合格 K・S

私は直前日曜特訓が始まる前までは、同じ教室の他の人と比べていた。周りの人たちは皆頭が良く、すらすらと問題を解ききちんと正解している中で、自分一人だけ取り残されているような気分だった。つまり、自信が無かったのだ。

しかし直前日曜特訓に参加する中で考えが変わった。模試さながらの問題が題され、先輩たちの記録や平均点などもあり、自分の結果に一喜一憂しながらも、自分の力が少しずつ伸びてきているのを感じた。それによって少しだけ自信が付き、もっと頑張ろうという自分自身のはげみとなった。

今、直前日曜特訓を終え適性検査もあと五日までさしせまっている。焦りも勿論あるのだが、後悔の無いようにしたいという気持ちが強い。だからもし落ちてしまっても悔いのないように本番で出し切りしたい。



来年度受験について

【中学受験】

《公立一貫校》

○白鷗適性検査Ⅰが共同作成問題に！また、報告書点の取り扱い、検査点と報告書点のバランス変更！

各校のHPに、24年度の募集要項が掲載されています。特筆すべき変更は、白鷗です。

白鷗の募集要項13ページに第5-6-2の「検査等の方法」で、(1)適性検査Ⅰが共同作成問題を使用する旨が記載されています。「文章の内容を的確に読み取ったり、自分の考えを論理的かつ適切に表現したりする力を見る。」とありますので、求められている力が変わったわけではありません。白鷗は今まで適性検査Ⅰでは、小問でも記述力が求められていましたが、共同作成問題を利用することになると、白鷗の過去問演習ではなく、共同作成問題の演習量を確保することが肝心です。

○都内公立一貫校にもジェンダー平等の波が到来！

千代田区立九段中等教育学校は、都立高校から千代田区に移管したという経緯もあり、都立中等教育学校及び都立中学

校の入学者決定要項に準ずる形で、男女別定員を設けてきました。しかし、男女別定員を定めることで、男女間の合格ラインに差が生じるケースが見受けられるため、また、社会的にジェンダー平等の認識が高まっていることもあり、千代田区では検討会を立ち上げ、数回にわたり、議論を重ねてきました。千葉、神奈川ではすでに男女合同定員が実施され、都立高校も合同定員化されます(後述)。

九段のB区分では数年にわたり、女子の倍率が男子の倍率を大きく上回る状況が継続し、検討会からの報告をもとに6年度入試から男女別定員を撤廃することを、スピード感をもって実施されました。

ここ数年の倍率の傾向からすれば、当然女子の合格者比率が増えることと思われます。男子受験(検)生は心して準備をしてください。

九段では男女比に極端な偏りが出た場合、トイレや更衣室等の施設面、保健体育や学校行事等の教育カリキュラムの見直しが必要となりそうです。

現段階で、都立中学・中等教育学校では男女合同定員の検討はなされていないようですが、今後その流れは出てくるかもしれません。

お子さんが受験(受検)なさる学校のHPは必ずご確認ください。6年生はできる限り願書配布説明会(学校によって

名称が異なることもあります)にご参加くださるようお願いいたします。その説明会では願書の提出に関する詳細が説明されます。

【高校受験】

○都立高校、男女合同選抜への移行

段階的に進められてきた男女別定員緩和措置が、いよいよ男女合同選抜へ移行します。先ほど述べた九段中等学校の記事でもふれたように、ジェンダー平等の実現を目指した改革です。基本的に女子の方が合格基準が高くなっていったため、女子の不満が多かったこと、他県では男女別定員を敷いていないことなどといった理由が、この改正を推し進めたこととなります。緩和措置を年々拡大することによって、合同選抜を実施したとしても影響を受けない学校が増えては来ているものの、三田・竹早・広尾など一部の人気校は昨年の合格最低点が男女で差がありましたので、志望動向には要注意です。各学校の募集定員は女子よりも男子のほうが10名前後多く設定されているのが大半で、男子の枠が若干大きいということではありますが、合格ラインぎりぎりの場合は願書の提出を慎重にすること、また、差し替えまで射程に入れて検討する必要があるかもしれません。

新小岩教室長 依藤 聡